

しゅくだい だい か  
宿題：第15課 (Lesson15)

なまえ  
名前：

1 (例) あれ、ドアが ( あ開きません ) ・ あ開けません )。

(1) あつ暑いんですね。エアコンを ( つきましよう ・ つけましよう )。

(2) たばこの火を ( ひきてください ・ けしてください )。

(3) ドアのかぎが ( かかりません ・ かけません )。

(4) 10時半に会議が ( はじまります ・ はじめます )。

(5) パソコンが ( こわれて ・ こわして ) つか使えません。

2 (例1) オウさんが ドアを ( あ開けました )。

(例2) 風が ふいて、ドアが ( あ開きました )。

(1) さむ寒かったので、先生が せんせい ドアを ( )。

(2) かぜ風がふいて、ドアが ( )。

(3) だれもいなかったら、きょうしつ教室のでんき電気を ( ) ください。

(4) たいふう台風で、でんき電気が ( )。

(5) ちょっと くら暗いですから、でんき電気を ( ) ましょう。

(6) でんき電気が ( ) いますから、オウさんは、いま今

へや部屋にいます。

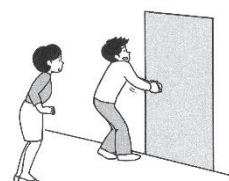
<u>あ</u> 開ける	<u>あ</u> 開く	<u>し</u> 閉める	<u>し</u> 閉まる
つける	つく	きえる	けす

3 (例) ( あ開く ・ あ開ける )

A: ドア が あ開きません。

すみませんが、ドア を あ開けて ください。

B: いいですよ。あれ、あ開きません ね。



(1) まど (開く・開ける)

A: \_\_\_\_\_ が \_\_\_\_\_。

すみませんが、\_\_\_\_\_ を \_\_\_\_\_ ください。

B: いいですよ。あれ、\_\_\_\_\_ ね。

(2) 電気 (つく・つける)

A: \_\_\_\_\_ が \_\_\_\_\_。

すみませんが、\_\_\_\_\_ を \_\_\_\_\_ ください。

B: いいですよ。あれ、\_\_\_\_\_ ね。

4 (例) きれいな花が ( さいて ) います。

(1) あ、お金が ( ) います。

(2) まどが ( ) いますね。閉めましょうか。

(3) A: タクシーが 1台 ( ) いますよ。

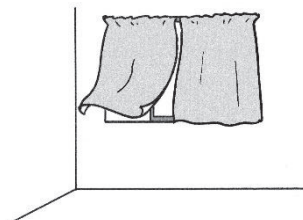
B: じゃ、タクシーで 行きましょう。



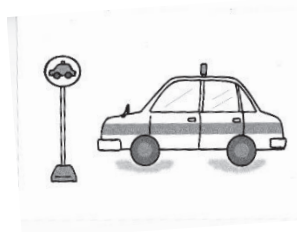
(1)



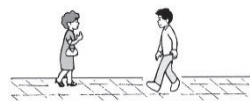
(2)



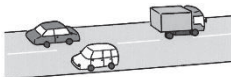
(3)



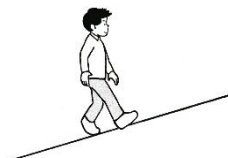
5 (例) 道 ( を ) 歩きます。



(1)



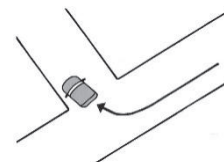
(2)



(3)



(4)



(1) 車が道 ( ) \_\_\_\_\_。

(2) さか ( ) \_\_\_\_\_。

(3) かいだん ( ) \_\_\_\_\_。

(4) 車<sup>くるま</sup>が かど ( ) \_\_\_\_\_。

6 (例) 兄<sup>れい</sup>は 病<sup>あに</sup>気<sup>びよう</sup>に なりました。それで、学<sup>がっこう</sup>校<sup>やす</sup>を 休<sup>やす</sup>みました。

→ 兄<sup>あに</sup>は 病<sup>びよう</sup>気<sup>き</sup>に ( なった ) ので、学<sup>がっこう</sup>校<sup>やす</sup>を 休<sup>やす</sup>みました。

(1) このピアノは だいぶ 古いです。それで、いい音<sup>おと</sup>がしません。

→ このピアノは だいぶ ( ) ので、いい音<sup>おと</sup>がしません。

(2) 図<sup>としょかん</sup>書<sup>かん</sup>館<sup>かん</sup>は しずかです。それで、よく勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>できます。

→ 図<sup>としょかん</sup>書<sup>かん</sup>館<sup>かん</sup>は ( ) ので、よく勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>できます。

(3) き<sup>あめ</sup>のう雨<sup>あめ</sup>が ふりました。それで、どこにも 行<sup>い</sup>きませんでした。

→ き<sup>あめ</sup>のう雨<sup>あめ</sup>が ( ) ので、どこにも 行<sup>い</sup>きませんでした。

(4) 学<sup>がく</sup>生<sup>せい</sup>です。それで、き<sup>やす</sup>っぷが安<sup>やす</sup>くなります。

→ ( ) ので、き<sup>やす</sup>っぷが安<sup>やす</sup>くなります。

(5) この宿<sup>しゅく</sup>題<sup>だい</sup>は かんたんでした。それで、10分<sup>ぶん</sup>で できました。

→ この宿<sup>しゅく</sup>題<sup>だい</sup>は ( ) ので、10分<sup>ぶん</sup>で できました。

7 (例) 私<sup>れい</sup>は 電<sup>でん</sup>気<sup>き</sup>を つけました。(明<sup>あか</sup>るい)

→ 私<sup>わたし</sup>は 部<sup>へ</sup>屋<sup>や</sup>を 明<sup>あか</sup>るくしました。

(1) 私<sup>わたし</sup>は はこから 本<sup>ほん</sup>を 出<sup>だ</sup>しました。(軽<sup>かる</sup>い)

→ 私<sup>わたし</sup>は はこを \_\_\_\_\_ しました。

(2) 私<sup>わたし</sup>は 部<sup>へ</sup>屋<sup>や</sup>を そうじしました。(きれいな)

→ 私<sup>わたし</sup>は 部<sup>へ</sup>屋<sup>や</sup>を \_\_\_\_\_ しました。

(3) 私<sup>わたし</sup>は りんご<sup>き</sup>を切<sup>き</sup>りました。(半分<sup>はんぶん</sup>)

→ 私<sup>わたし</sup>は りんごを \_\_\_\_\_ しました。

8 (例) 部屋<sup>へや</sup>を そうじ<sup>きれい</sup>します (きれいな)

→ 部屋<sup>へや</sup>を きれいに そうじします。

(1) 字<sup>じ</sup>を 書<sup>か</sup>いてください (大き<sup>おお</sup>い)

→ \_\_\_\_\_。

(2) やり方<sup>かた</sup>を 説明<sup>せつめい</sup>してください (くわ<sup>くわ</sup>しい)

→ \_\_\_\_\_。

(3) 日本語<sup>にほんご</sup>を 話<sup>はな</sup>しています (上<sup>じょう</sup>手<sup>ず</sup>な)

→ \_\_\_\_\_。

(4) 字<sup>じ</sup>を 書<sup>か</sup>いてください (ていね<sup>ていね</sup>いな)

→ \_\_\_\_\_。

9 質問<sup>しつもん</sup>に 答<sup>こた</sup>えましょう。

(1) (あなたの) 部屋<sup>へや</sup>の まどから、何<sup>なに</sup>が見<sup>み</sup>えますか。

\_\_\_\_\_

(2) (あなたの) 国<sup>くに</sup>では、車<sup>くるま</sup>は 道<sup>みち</sup>の左側<sup>ひだりがわ</sup>\*を 通<sup>とお</sup>りますか。

<sup>ひだりがわ</sup>  
\*左側=left side

\_\_\_\_\_

(3) どうして、クラスを 休<sup>やす</sup>みしましたか。 <Using ~ので>

\_\_\_\_\_